

今月の安全運転管理

環境保全と事故防止 一挙両得 エコドライブ

①事業所挙げてのエコドライブの推進

- エコドライブのメリットの周知
- エコドライブの定着を図る

②二輪車の事故防止を進める

- 二輪ライダーへの安全運転指導の実施

※エコ&セーフティ100日間無事故・無違反運動表彰式 11月25日(金)



エコドライブの メリットを周知しよう

十一月は「エコドライブ推進月間」です。事業所でもエコドライブの実践を呼び掛けましょう。

エコドライブのメリットは、ガソリンの使用量を抑えて燃費を向上させることから、ガソリン代の節約はもちろん、地球温暖化に影響を与えているとされる「二酸化炭素や窒素酸化物等の排出量を削減することにも繋がります。

また、急発進や急停止をしないことや十分な車間距離をとることとは安全運転にも繋がります。

このようなエコドライブがもたらすメリットを紹介し、エコドライブ実践の機運を高めましょう。

エコドライブの 推進を図ろう

エコドライブの具体的な方法は「エコドライブ10のすすめ」にまとめられています。

- ・主な項目として、
 - ・緩やかにアクセルを踏む
 - ・車間距離をとり、加減速の少ない運転を心がける
 - ・減速時の早めのアクセルオフ
 - ・アイドリングストップ
 - ・点検・整備の徹底
 - ・不要な荷物を降ろす
- などです。

エコドライブは誰でも簡単に始

めることができるものですが、二度に全部の項目を実践することが難しい場合は、毎月の重点目標を決めるなどして、エコドライブの定着を図りましょう。

ある事業所では、一人ひとりの燃費を割り出し、燃費のよい運転をしたドライバーを表彰することで、エコドライブ実践の動機づけを図っています。ドライバーが自然にエコドライブを実践できる環境づくりをすすめましょう。

二輪ライダーに 安全対策を指導しよう

二輪車の死亡事故が多発しています。平成二十九年～令和三年の過去五年間の二輪車の死者数で、もっとも多いのは二十歳代、次いで五十歳代となっています(愛知県警調べ)。

二輪車は、四輪車と比べて、身体がむき出しであることや、車体が小さく他の車から見落とされやすいため、事故の危険が高くなるだけでなく、事故の際の被害も大きくなります。

二輪ライダーに対して、ヘルメットの正しい着用、制限速度の遵守、カーブ手前での減速等の安全運転の基本を指導してください。

また、万が一の事故の際に身体を守るプロテクターやエアバッグジャケットの着用を呼び掛けましょう。

アルコール検知器使用義務の延期

安全運転管理者の業務の一つである酒気帯びの確認については、令和4年4月1日から施行されており、10月1日からアルコール検知器を用いた確認を行うこととなっていました。最近のアルコール検知器の供給状況等を踏まえ、当分の間、延期されることとなりました。

安全運転管理者選任義務違反等に対する 罰則の強化

令和4年の道路交通法の改正により、安全運転管理者の選任義務違反に対する罰則が、5万円以下の罰金から50万円以下の罰金に引き上げられ、また、安全運転管理者の選任等に関する届出を行わなかった場合の罰則も、2万円以下の罰金又は料料から5万円以下の罰金に引き上げられました(令和4年10月1日施行)。